

【学校名 岩見沢市立第二小学校】

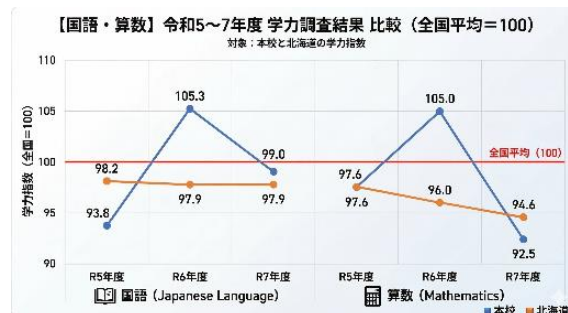
1 授業時数特例校制度導入の考え

(1) 実施の目的

- ・教科等横断的視点に立った資質・能力の育成
- ・探究的な学習活動の充実に資する教育課程編成の一層の充実

(2) 解決を図る学校課題

情報を収集することはできているが、それを比較・分類・整理・分析し、根拠をもって筋道立てて表現する力が十分ではない。



全国学力学習状況調査の結果より

【国語】・・・複数資料を関連付けて読み取り、条件に応じて書く力

年度	全国学力学習状況調査で問われたこと	本校結果との対応
R5	米作り・運動と食事・学校ボランティアを題材に、 複数資料を読んで整理し、考えを書く	情報の扱い方 47.6%、「問題点と解決方法を書く」9.5% から、資料を根拠に書くことに大きな課題
R6	学校紹介や学校のよさを伝える文章で、 材料を分類・関係付け、事実と感想を区別して書く	書くことは改善したが、内容(3) 55.6%、「文章や資料の内容をもとに、必要なことを適切に捉える問題」38.9% から、条件に応じて適切に表現することに課題
R7	インタビュー・暮らし・言葉の変化で、 複数資料を結び付けて読み、必要な情報を選んでまとめる	情報の扱い方 58.3%、書くこと 63.9% から、情報の整理とまとめに継続課題

【算数】・・・数量や図形の関係を捉え、理由を説明する力

年度	全国学力学習状況調査で問われたこと	読み取れること
R5	椅子・テープ・分配法則・運動調べを題材に、 数量関係・図形の構成・データを基に説明する	図形 45.2%、2(3) 14.3%、「正三角形の意味や性質を理解しているか」28.6% から、図形の関係を根拠に説明することが弱い
R6	折り紙・米・見取図と展開図・速さ・グラフで、 式や図、数量関係を基に理由を書く	変化と関係 48.1%、「道のり・時間・速さの関係を使って、理由付きで説明できるか」38.9%、「グラフの情報を読み取り、条件に合わせて説明できるか」33.3% から、関係を捉えて説明する問題が課題
R7	野菜・多角形・小数と分数・ハンドソープで、 複数の数量や図形の関係を整理して判断し、説明する	図形 52.1%、変化と関係 52.8%、記述式 36.5%、「複数の情報から必要な数量を見だし、その関係を数学的に表現できるか」20.8% から、関係把握と説明に継続課題

【質問紙】・・・ICTを使った情報の整理・分析する力と自己調整して学習を進める

【ICT活用】

年度	関連する主な設問・結果	読み取れること	課題として見える点
R5	授業でICTを週1回以上活用 86.3% / ICTは学習に役立つ 100%	ICT活用への抵抗感はなく、有効感が高い	活用頻度や有効感が高いが、 整理・分析に生かしているかまでは見えにくい
R6	「ほぼ毎日」活用 84.2% 、「週3回以上」 10.5% / 総合で情報を集め整理し発表する実感 89.4%	ICT活用は高頻度で、探究活動への参加感も高い	集める・発表する経験はあるが、ICTを使って整理・分析する力の定着をさらに確かめる必要がある
R7	ICT活用「ほぼ毎日」 66.7% 、「週3回以上」 25.0% / ICTで情報を整理する 62.5% / スライド作成 95.9% / 総合で情報を集め整理し発表する 100%	ICT活用は非常に高く、発表資料作成も得意	「使う」「発表する」は高い一方、ICTで情報を整理する力は 62.5% にとどまり、整理・分析に課題が見られる

【自己調整】

年度	関連する主な設問・結果	読み取れること	課題として見える点
R5	家で自分で計画を立てて勉強している 95.5% / 平日1時間以上 27.3% / 休日1時間以上 18.1%	学習を自分で進めようとする意識は高い	意識の高さが、実際の継続的な学習行動に十分結び付いていない
R6	課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組む 89.5% / 分かった点・分からなかった点を見直し、次につなげる 84.2%	主体的に取り組む、振り返ろうとする意識は高い	自己調整の意識は高いが、 学習の進め方を自分で見直し、質を高めることをさらに伸ばす必要がある
R7	自分で考え自分から取り組む 91.7% / 見直して次につなげる 87.5% / 平日1時間以上 58.3% / 休日1時間以上 16.7%	主体性や振り返りの意識は高い	平日は一定の学習習慣がある一方、休日は継続が弱く、 自己調整を安定した学習行動に結び付けることが課題

【学び方】・・・主体的・対話的な学習深い学びを実現し、答案や説明文の質的向上へ
つなげる

年度	児童質問紙の主な結果	読み取れること
R5	発表の際に資料や文章、話の組立てを工夫する 91.0%/課題解決に向けて自分で考え自分から取り組む 81.9%/学んだことを生かしてまとめる 90.9%	学習への参加感や主体性は高い一方で、実際の記述や説明の質には十分結び付いていない
R6	発表を工夫する 68.5%/課題解決に向けて自分で考え自分から取り組む 89.5%/学んだことを生かして考えをまとめる 84.2%/話し合いを通して考えを深める 89.5%/見直して次につなげる 84.2%	主体的・対話的な学びはかなり定着し、国語の記述は改善したが、条件に応じて適切に表現することや、理由を明確に説明することには課題が残る
R7	発表を工夫する 91.7%/自分で考え自分から取り組む 91.7%/学んだことを生かして考えをまとめる 83.4%/話し合いで考えを深める 95.9%/見直して次につなげる 87.5%	主体性・対話性は非常に高いが、学びを再構成して、答案や説明文として論理的に表す力には継続課題がある

課題解決の方策 「探究的な学習活動の充実」

本校では、教育課程特例校制度を活用し、総合的な学習の時間の時数を増加させることで、この課題の解決を図る。

①個別探究を中核に据えた総合の充実

児童一人一人が自ら問いを立て、情報を収集し、整理・分析し、まとめ・表現する個別探究を総合的な学習の時間の中心に位置付ける。

これにより、教科横断的に情報活用能力、問題発見・解決能力、言語能力を育成する。

②「情報を整理する力」を明示的に育てる

ICT を、発表スライド作成のためだけでなく、比較表、思考ツール、関係図、要約、分類表などを用いた情報整理の道具として活用する。

「課題発見⇒情報収集⇒整理・分析⇒まとめ・表現」という探究の型を繰り返し経験させる。

③個別と協働を往還する学習をつくる

問題を解決する過程で、他者の視点を取り入れながら自分の考えを見直し、再構成することを通して、多面的・多角的に考える力を育てる。これにより、主体的・対話的で深い学びを実現し、各教科においても、記述や説明がより論理的で分かりやすいものとなるよう、表現の質の向上につなげる。

④教科との接続を明確にする

総合で育てた力を、各教科に接続する。

例えば、 国語：集めた情報を根拠付きで短くまとめる

算数：データや数量関係を図・表・式・言葉で説明する

社会、理科：問題を発見し、主体的に解決することができる

といった学習を意図的に設計する。

⑤自己調整しながら学ぶ力の育成

探究的な学習活動の中で、児童が自ら問いを立て、見通しをもち、学習方法を選択し、振り返りを通して学びを調整できるようにする。

各過程において、自分の考えや進め方を見直し、修正・改善する場面を意図的に設定することで、自己調整しながら学ぶ力を育てる。

(3) 保護者・地域住民への周知

①保護者への周知

- ・令和8年2月の参観日全体懇談会で、次年度の授業時数特例校制度について周知。
- ・令和8年4月初めの学校だよりでリーフレットを配付し周知する。
- ・令和8年4月下旬の参観日全体懇談会で周知予定。

②地域住民への周知

- ・令和8年3月の上幌向地区学校運営協議会で、次年度の授業時数特例校制度について周知。
- ・令和8年4月の上幌向地区学校運営協議会ホームページにリーフレットを掲載し、周知。

2 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数（授業時数の増減）

学年		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の授業時数	国語	306	315	245	245	175	175
		306	315	240(-5)	240(-5)	170(-5)	170(-5)
	社会	-	-	70	90	100	105
				65(-5)	85(-5)	95(-5)	100(-5)
	算数	136	175	175	175	175	175
		136	175	175	175	175	175
	理科	-	-	90	105	105	105
				85(-5)	100(-5)	100(-5)	100(-5)
	生活	102	105	-	-	-	-
		102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
		68	70	55(-5)	55(-5)	45(-5)	45(-5)
図画工作	68	70	60	60	50	50	
	68	70	55(-5)	55(-5)	45(-5)	45(-5)	
家庭	-	-	-	-	60	55	
					60	55	
体育	102	105	105	105	90	90	
	102	105	105	105	90	90	
外国語	-	-	-	-	70	70	
					70	70	
特別な教科である道徳の授業時数	34	35	35	35	35	35	
	34	35	35	35	35	35	
外国語活動の授業時数	-	-	35	35	-	-	
			35	35			
総合的な学習の時間の授業時数	-	-	70	70	70	70	
			95(+25)	95(+25)	95(+25)	95(+25)	
特別活動の授業時数	34	35	35	35	35	35	
	34	35	35	35	35	35	
合計	850	910	980	1015	1015	1015	
学校行事	38	39.5	43	49.5	45.5	40.5	
児童会活動	2	2	3	17	17	17	
クラブ活動	0	0	0	6	6	6	

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [870時間] 余剰時数 [20時間]
 第2学年の余剰を含めた総授業時数 [929.5時間] 余剰時数 [19.5時間]
 第3学年の余剰を含めた総授業時数 [999時間] 余剰時数 [19時間]
 第4学年の余剰を含めた総授業時数 [1035.5時間] 余剰時数 [20.5時間]
 第5学年の余剰を含めた総授業時数 [1042.5時間] 余剰時数 [27.5時間]
 第6学年の余剰を含めた総授業時数 [1037時間] 余剰時数 [22時間]